

ファミサポ通信

Vol.37

東かがわ市ファミリー・サポート・センター 令和8年2月発行

新年度が近づき、子どもたちやご家庭の環境が変わりやすい季節になりました。日頃よりファミサポに関わってくださる会員の皆さまに、心よりお礼を申し上げます。春は楽しみがある一方で、慌たしさや不安を感じる場面も増えてくるものです。そんなときに、そっと思い出して頼ってもらえる存在でいられるよう、これからも皆さんと一緒に支え合っていけたらと思っています。



送迎サポートの様子

ファミリー・サポート・センターでは、
このようなお手伝いをしています！

- こども園、小学校、放課後児童クラブや習い事などの送迎や、その前後の預かり
- 学校行事等の際の下の子の預かり
- 買い物や美容院などの保護者の外出や用事の間の預かり等

★生後6か月以降のお子さんの預かりや送迎を、地域に住むまかせて会員さんが、保護者に代わってサポートします！

登録から利用までの流れ

おねがい会員の対象

市内に在住・在勤で、生後6か月以降の子どもをもつ保護者

①会員登録
(子ども同伴)



②活動依頼
(センターへ連絡)



③マッチング
(おねがい会員(子ども同伴)、まかせて会員、ファミサポ職員の三者にて打ち合わせ)

④活動実施
(預かりや送迎)

⑤利用料支払
(活動報告書の受取)

活動時間・利用料金

- 月～金 7時～19時…1時間500円
- 上記以外の時間、土日祝日、年末年始…1時間700円



Q&A

Q.どんな依頼内容が多いですか？

A.放課後児童クラブへの迎えや、習い事の送迎、保護者の用事の際の預かりなどの活動依頼が多くなっています。

Q.すぐには利用しないけれど、念のために登録だけしておきたいのですが…？

A.できます。お守り代わりに登録されている方も多くいます。

Q.緊急時にも対応可能ですか？

A.可能な限り対応したいと思いますが、事前のマッチングを行ってからへの援助になりますので、対応できないこともあります。ゆとりをもって登録やマッチングをしておくことをお勧めします。

Q.子どもの預かり場所はどこになりますか？

A.原則はまかせて会員宅ですが、両会員の合意がある場合は、おねがい会員の自宅や、公共施設(こどもひろば・図書館・ファミサポルーム等)等での預かりも可能です。

Q.病氣中や病氣回復中の子どもを預けることはできますか？

A.病氣中は容体の変化が激しいため預かることはできません。病氣の子どもを保護者に代わって保育施設に迎えに行くこともできません。病氣中や病氣回復期の場合は、病児・病後児保育施設の利用をお勧めします。

Q.まかせて会員はどんな方が登録していますか？

A.市内に在住のまかせて会員養成講座を受講修了された方で、40代～60代の方が登録され活動しています。

その他ご不明な点がありましたら、ファミサポまでお気軽にご連絡ください。



令和7年度まかせて会員養成講座実施報告

今年度も、子どもを預かるうえで大切な知識や技術を学ぶ「まかせて会員養成講座」を実施しました。全14項目の内容の中から、今回はいくつかをピックアップしてご紹介します。



講座の様子を
紹介します



心肺蘇生とAED

「子どもの安全 ～もしもの時の心肺蘇生とAED～」

大川広域東消防署白鳥分署 平井 氏

市内で発生している事故やけがの状況について学び、子どものケガや事故への基本的な対応方法を確認しました。後半ではAEDの使い方についても実習を交えながら学び、実際の現場でのお話に受講者は熱心に耳を傾け、積極的に質問する姿が見られました。

「発達に課題のある中高生への対応（基礎編）」

香川県立香川東部支援学校

専任特別支援教育コーディネーター 田中 豊 氏

香川東部支援学校の田中先生から、発達に特徴のある子どもへの関わり方について学びました。先生が繰り返し伝えてくださった「子どもは可能性の種子です」「十人十色であることを忘れないでほしい」という言葉が、とても心に残りました。行動の裏にはその子なりの思いや背景があり、「困りごと」だけを見るのではなく、その子が力を発揮できる環境や関わり方を考えることが大切だとお話しくださいました。短い時間でしたが、日々の関わりに生かしたい気づきがたくさん詰まった講義でした。



発達に課題のある中高生への対応（基礎編）



作って遊ぼう！

「作って遊ぼう！おもちゃ作りの達人の講座」

けいあいこども園 副園長 小嶋 知代子 氏

けいあいこども園の小嶋先生から、子どもの成長にとって欠かせない「遊び」についてお話を伺いました。遊びは子どもにとって生活そのものであり、心や体の発達を支える大切な時間だという先生の言葉が心に残りました。講座の後半では、牛乳パックを使った簡単なおもちゃ作りにも挑戦し、身近な素材でも子どもの想像力や楽しさが広がることを実感できる時間となりました。

「食って大事！一番身近な食べ物のお話」

東かがわ市 保育教育課

管理栄養士 遠藤 奈都子 氏

管理栄養士の遠藤先生から、授乳期・離乳食・幼児食までの流れや食育の基本について学びました。さらに、食物アレルギーへの対応や食中毒予防など、子どもの食に関わる大切なポイントをわかりやすく教えていただきました。身近な「食」の大切さを改めて感じられる時間となりました。



子どもが喜ぶ簡単レシピ

▼受講者の声

- ・講座を通して、子育ては一人で抱え込まず、地域の力を借りていいことを知りました。
- ・ファミサポは「預かりサービス」ではなく、人と人との信頼関係で成り立つ支え合いのしくみだと実感しました。
- ・講師の話が楽しくわかりやすく、“ああ、そうだったのか”と腑に落ちた内容が多かったです。

令和7年度 スキルアップ研修会のご案内

まかせて会員
どっちも会員
対象

参加費
無料

東かがわ市ファミリー・サポート・センター
第3回スキルアップ研修会

アンコンシャス バイアス

親の役割って
こうだよな？

これって
常識だよな

このくらいの
時間なら
大丈夫だろう

無意識の思い込み
に気づこう！

子どもは
元気いっぱい
遊ぶもの

無意識の思い込みに気づくことで、より丁寧で寄り添った支援につながります。

子育て支援の場面で、知らないうちに起きている“思い込み”や“決めつけ”。
こうした 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に気づくことで、
より丁寧で安心できる支援につながります。

本研修では、アンコンシャス・バイアスの基礎をわかりやすく学び、支援の中で起こりやすいすれ違いへの対処や、寄り添いにつながる視点を身につけます。参加者同士で気づきを共有するミニワークも実施し、明日からの活動に活かせるヒントを得られる内容です。

対象 まかせて会員・どっちも会員

日時 令和8年3月5日（木）
10：00～11：30（受付9：30～）

場所 東かがわ市交流プラザ2階
第3・第4講座室

定員 20名程度 持ち物 筆記用具

留意
事項

・気象警報発表等により、開催を中止することがありますので予めご了承ください。右記の二次元コードから申込可能
・再度ご案内はいたしませんので、お申込み後は、ご案内を大切に保管ください。

講師

高松太田社労士
事務所 代表

谷川 由紀

日本アンガーマネジメント協会認定
アンガーマネジメントコンサルタント

社労士業務を行いながら、厚生労働省委託事業
「仕事と育児・介護の両立支援プランナー」や
「女性活躍推進アドバイザー」として、県内外の
中小企業に対し支援を行っている。



お申込その他詳細は、後日送付いたしますチラシにてご確認ください。
皆さんの日頃の活動に役立つヒントがぎゅっと詰まった内容になっています。
気軽に参加できる研修ですので、ぜひお申込みください。

令和7年度 4月～12月会員登録・活動件数

■会員数(令和7年12月末現在)

	引田	白鳥	大内	市外	計
おねがい会員	19	25	56	1	101名
まかせて会員	18	21	17	1	57名
どっちも会員	0	2	1	0	3名
計	37	48	74	2	161名

■活動件数(令和7年12月末現在)

援助活動内容	件数
子どもの習い事の預かり及び送迎	45件
放課後児童クラブの送迎	32件
保護者等の外出の場合の預かり	1件
計	78件

今年度は、昨年度と比べるとファミサポの活動件数が少し減少しています。会員数そのものは大きく変わっていませんが、お子さんの成長にともない「自分でできること」が増え、定期的な利用が減ったことが主な理由ではないかと感じています。一方で、登録だけしておく“お守り代わり”の会員さんも多くいらっしゃいます。必要なときに必要なだけ頼れるというのがファミサポの良いところですので、「ちょっと相談したい」「急に困った」にも対応できるよう、センターでマッチングのサポートを行っています。どうぞお気軽にお問い合わせください。

ファミサポからのお願い

●依頼活動の確認を今一度！！

定期的な活動、単発の活動どちらも、活動忘れないように、依頼が決まったら、会員同士の連絡の他、まかせて会員さんはアラームをセットしたり、カレンダーに記載したりするなど各自で対策をしていただきますよう何卒よろしくお願いいたします！

●活動報告書の提出について

活動報告書の提出は、翌月5日までです(5日が休館日の場合は、翌開館日まで)。大変お忙しい中恐縮ですが、実績報告提出の為、できるだけご協力をお願いいたします。

●会員登録解除について

引越などでも市外や県外へ転出される場合や会員登録の継続を希望されない場合は、会員登録の解除届の提出が必要となりますので、センターまでご連絡ください。

●事故発生時や災害時の対応について

活動中の安全を守るために、事故や災害が起きた際の対応については、日頃から会員さん同士で定期的に確認し合っていたことが大切です。緊急連絡先・避難場所・連絡が途絶えた時の合図(災害用伝言ダイヤル171の活用など)を共有し、安心して活動できる環境づくりにつなげていきましょう。いざという時に備えて、緊急時の連絡体制を把握することがとても重要です。

チャイルドシート・ジュニアシートの着用について



道路交通法では、6歳未満の子どものチャイルドシート着用が義務です。また日本自動車連盟(JAF)は2024年9月、安全確保のため使用推奨基準を「身長150cm未満」へ引き上げました。

2024年8月の福岡市の事故では、後部座席でシートベルト着用でも、チャイルドシート未使用だった7歳・5歳の姉妹が腹部圧迫で死亡したと報じられています。

◆送迎サポート利用時のお願い◆

お子さんの安全のため、身長150cm未満のお子さんにはチャイルドシート・ジュニアシートの着用にご協力ください。シートベルトが首にかからず、腹部を圧迫しない正しい位置で着用できているか、乗車のたびにご確認をお願いいたします。

もしもの時の備えは

平時である今だからこそ！

近年は地震や豪雨などの災害が各地で増え、いつ被災するか分からない中で、日頃からの備えはとても大切です。

ぜひ下記のチェックリストや当市の防災冊子を活用して、家族や会員同士で、お互いの連絡方法や、避難場所を今一度ご確認ください。

日頃の小さな準備が、いざという時の落ち着いた行動につながります。無理のない範囲で、できることから備えていきましょう。



「防災の備え
チェックリスト」

■参照:内閣官房内閣
広報室 首相官邸



「地震・風水害に
備える」

■参照:東かがわ市
総務部危機管理課

東かがわ市内のハザードマップが掲載されています。ご自身の自宅周辺の危険箇所について、ぜひご確認ください！

東かがわ市ファミリー・サポート・センター

東かがわ市社会福祉協議会 (白鳥社会福祉センター内)

〒769-2701東かがわ市湊1809番地

TEL(0879)26-1122 FAX(0879)26-3016

E-mail: hks-famisapo@higashikagawa-shakyo.jp

開所時間: 8:30~17:00

休館日: 土・日・祝日・年末年始(12/29~1/3)



▲上記のコードからもご覧いただけます。

